

YOUTH MANNA

Grace
Community
2024
Be

Acts 2:42



彼らはいつも、使徒たちの教えを守り、交わりを持ち、パンを裂き、祈りをしていた。
使徒の働き 2章42節

2024/12/16(月)

ミカ3章

ミカが告げているのは国や町のかしらたち、首領たち、神様の声を聞いて語るはずの預言者たちだった。彼らは神様を知っていたけれど、神様を恐れず、自分さえ良ければ何をしていても良いという生き方をしていたようだね。そのため、どんな悪いことが起ころうとしていただろうか。4、7、12節を読んでみよう。

自分たちの未解決の罪が、神様との仕切りとなって、神様の声が聞こえなくなることがある(イザヤ59:2)今祈るように迫られていることはあるだろうか。

ミカが告白した8節の言葉に目を留めよう。神様との正しい関係においてこそ、本当の力強さや勇気が与えられるよ！今日も祈って出ていこう！

2024/12/17(火)

ミカ4章

「終わりの日」にミカが見た幻はどんなものだっただろうか。神様が用意されている回復と驚くような平和を見てみよう(1-5)。

イスラエルは自らの背きと罪のために、バビロンに滅ぼされ捕囚されなければならなかった。敵は「汚されるがよい」とあざけたけれど、その背後におられる神様が仕組みられたことであることを知らなかった(12)。神様はいつも、罪を犯したイスラエルが悔い改めて神様の元に戻って来るのを忍耐して待っておられるお方なんだ。

自分の罪に向き合うことは気の進まないことかもしれない。だけど、あなたを愛し、大きく祝福しようとされている神様の前に、へりくだって進み出よう！

2024/12/18(水)

ミカ5章

1節の「包囲網」で思い出すのは、実際にこの頃のイスラエルが大国アッシリアに攻め込まれて包囲された時のことだ。イスラエルには全く対抗できる力はなかったけれど、そんな絶望的な状況でも、神様は語られる。

●2節から、イエス様について分かることはどんなことだろうか？

●全てが逆転し、神様の統治が実現する時が来るけれど、すぐに起こることではない。それまでに起こることとして、アッシリアへの裁き(5-6)、「ヤコブの残りの者」が果たす役割、エルサレムへの裁き(10-15)が語られる。

全てを主権を持って行われる神様の前に高ぶりを捨てよう。自分で復讐することをせず、神様に委ね信頼して進もう！

2024/12/19(木)

ミカ6章

●神様は「聞け」と何度も愛を持って語られる。私たちも、心を静めて、今神様が何を語っているかを聞く耳を整えて聖書を読もう！

●6-8節を読もう。ここには、主が私たちに何を求めておられるのかが語られている。それは形だけのものではなく、私たちの心からの応答だ。今、自分の心と照らし合わせて、神様の語りかけを聞こう。今、自分が本当にすべきことは何だろうか？

●9-16節。神様は、罪に目をつぶって無かったことにはしない。神様を恐れて罪から離れよう！

2024/12/20(金)

ミカ7章

7-9vを読もう！

●9vどうしてミカは「自分は主の怒りを受けている」って思ったかな？同時に、怒りを受けているのは期限つきだって思いもあつたみたいだね。いつまで、って書いてあるかな？

●8vミカは「自分は倒れても起き上がる」って思った。それはどうしてだと思う？

●イエス様は私たちの光としてお生まれになった。そしてきみの罪の身代わりとして死ぬために。それを信じる者が無罪になる、これが神様がこの世を正しく裁く方法だったんだ。今年のクリスマスはそのことを考えてみよう。

2024/12/21(土)

テトス1章

テトスはクレタ島という島で教会を任された人で、このパウロからの手紙には教会を健全に建て上げていくためのアドバイスが記されているよ。

その最初には長老たちに向けて、きよい生活を歩むことや、救いの確信をもってみことばをしっかりと握ること、反対する人にははっきり真理を語ることなどが書かれている。それはこのクレタ島の教会が、文化や風習の影響を受けてゆるい信仰生活を送っていたからなんだ。だからこそ、テトスたちのイエス様に従順な姿は口で教えるのと同じくらい大きな力をもつ。

私たちもイエス様を信じて救われた恵みを改めて受け取り、それを行動に移してみよう！その姿からイエス様の栄光が表されるよう祈ろう！

2024/12/22(日)

マタイ1:1-17

今日は第四アドベントです。「アブラハムの子、ダビデの子、イエスキリストの系図」には、四人の女性が登場します。タマル、ラハブ、ルツ、そしてウリヤの妻です。辛い人生を歩んだり、神様に用いられたり、この女性たちの人生にはさまざまな歩みがありました。

良いことも、そうでないこともそのひとつひとつが神様のご計画のうちであり、アブラハムに神様が与えられた約束を成就することのしるしとなりました。光が当たらないような、様々な人たちの人生をも用いて、神様はイエス様をこの世に送ってくださいました。まさにこの世の光としてイエス様は来てくださったんだね。

イエス様が来てくださったことへの感謝を思い巡らし、このクリスマスの時にイエス様のことを家族や友人に伝えよう！